

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画名 : 人と環境にやさしい交通システムの構築による
「水と緑が魅せる心豊かな庭園都市」の創造(防災・安全)

岡山市

平成27年3月

Table with 4 columns: 計画の名称, 計画の期間, 計画の目標, 定量的指標の定義及び算定式. Includes details on safety and infrastructure goals and a table for quantitative indicators.

事後評価 (Post-evaluation) section with a table detailing the implementation system and timing of the evaluation.

1. 交付対象事業の進捗状況 (Progress of delivery-targeted projects)

Main project progress table with columns for project number, type, location, and implementation period. Includes sub-sections A (Local road improvement) and B (Related social capital improvement).

C 効果促進事業														全体事業費 (百万円)	備考	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 団体	直接 間接	事業 主体	省略 工種	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)						
										H21	H22	H23	H24	H25		
1-C2	施設整備	一般	岡山市	直接		安全対策	灯りによる安全対策	防犯灯の設置及び修繕	岡山市						18	
1-C3	調査	一般	岡山市	直接		調査	交通事故統合調査	交通事故統合調査	岡山市				*****		31	024-地域自主路線交付金
1-C6	施設整備	一般	岡山市	直接		公共交通(バス)	P&R駐車場等整備	P&Rの駐車場等整備	岡山市						285	024-地域自主路線交付金
1-C7	施設整備	一般	岡山市	直接		公共交通(バス)	公共交通利用促進	バス停の利用環境検討・整備	岡山市						96	024-地域自主路線交付金
1-C8	施設整備	一般	岡山市	直接		自転車	自転車利用環境整備	中心市街地の駐輪場、自転車レーン検討・整備	岡山市						84	024-地域自主路線交付金
1-C9	施設整備	一般	岡山市	直接		自転車	レンタサイクルシステム整備	中心市街地のレンタサイクルシステム検討・整備	岡山市				*****		134	024-地域自主路線交付金
1-C10	施設整備	一般	岡山市	直接		観光	駅周辺交通環境整備	駅周辺の観光バス駐車場検討・整備	岡山市						0	
1-C11	施設整備	一般	岡山市	直接		自動二輪車	自動二輪車駐車場整備	自動二輪車駐車場の検討・整備	岡山市						0	
1-C14	施設整備	一般	岡山市	直接		安全対策	河川改修	河川護岸の改修	岡山市				*****		445	024-地域自主路線交付金
1-C15	修繕	一般	岡山市	直接		安全対策	河川修繕	河川護岸の修繕、河道浚渫	岡山市				*****		158	024-地域自主路線交付金
1-C18	安全教育	一般	岡山市	直接		交通安全	交通事故防止	教育用信号機の購入	岡山市						3	
1-C20	計画・調査	一般	岡山市	直接		計画・調査	橋梁長寿命化修繕計画策定	橋梁・横断歩道橋の長寿命化修繕計画を策定する	岡山市				*****		65	024-地域自主路線交付金
1-C22	計画・調査	一般	岡山市	直接		計画・調査	舗装補修基礎資料作成	路面性状調査を実施	岡山市				*****		23	024-地域自主路線交付金
1-C23	計画・調査	一般	岡山市	直接		公共交通	吉備線LRT検討	吉備線のLRT化に向けた調査検討	岡山市				*****		36	024-地域自主路線交付金
1-C24	計画・調査	一般	岡山市	直接		計画・調査	モビリティマネジメント	公共交通の利用促進に向けた啓発活動	岡山市				*****		7	024-地域自主路線交付金
1-C25	計画・調査	一般	岡山市	直接		計画・調査	交通実態調査	交通実態を把握するための調査	岡山市						22	
1-C26	計画・調査	一般	岡山市	直接		計画・調査	陥没対策資料作成	路面陥没による安全対策の検討業務	岡山市						18	
1-C27	計画・調査	一般	岡山市	直接		計画・調査	法面対策資料作成	道路防災法面点検の実施	岡山市						18	
										合計					1,443	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C2	歩行者や自転車が夜間安全に道路を利用できるように、通学路を重点的に防犯灯の整備及び修繕(LED化)を行う。	
1-C3	交通安全事業の計画策定に必要な交通事故統合調査を行う。	
1-C6	(都)久米岡山線(A38)などの渋滞緩和を目的とする道路整備にあわせて、P&R駐車場を整備して環境にやさしい交通システムの構築を図る。	
1-C7	(都)下中野平井線(A35)などの放射・環状道路の整備にあわせて、バス停の利用環境を向上させることでバス利用を促進し、渋滞を緩和して環境への負担を軽減する。	
1-C8	(都)上石井岩井線(A34)などの中心市街地の道路整備とあわせて、歩行者、自転車の道路利用環境を向上させるため駐輪場の整備を行う。	
1-C9	(都)上石井岩井線(A34)などの道路整備とあわせて、市内中心部の自転車利用環境と回遊性の向上を図るためレンタサイクルシステムを構築する。	
1-C10	(都)上石井岩井線(A34)などの道路整備とあわせて、駅周辺の道路利用環境の向上を図るため観光バス駐車場を整備する。	
1-C11	(都)上石井岩井線(A34)などの中心市街地の道路整備とあわせて、広域的な交流拠点として利便性の高い魅力的な都市づくりを進めるために自動二輪車駐車場の整備を行う。	
1-C14	橋梁耐震化(A47)とにあわせて、河川改修をおこない災害に強い都市基盤を整備することで(一)上芳賀大蓮線などの浸水対策を行う。	
1-C15	災害に強く安全に暮らせる都市を形成するために錦町古京町線(A50)橋梁耐震化とあわせて、普通河川の管理施設の機能確保や土砂堆積による流下能力の低下を改善することで、(主)妹尾御津線などの道路を含めた地域の浸水対策を実施する。	
1-C18	交通事故防止を目的として、交通安全教育用の信号機を購入する。	
1-C20	橋梁や横断歩道橋の点検と長寿命化計画の策定を行い、効果的・効率的な維持管理を行っていくことで、安全性・信頼性の確保を図る。	
1-C22	道路の路面性状についてデータを収集し、調査・解析することにより効果的・効率的な修繕を行うことで、安全性の確保を図る。	
1-C23	(都)米倉津島線(A37)などの道路整備とあわせて、JLR吉備線のLRT化検討を行うことで、公共交通と連携した総合交通体系の実現を目指す。	
1-C24	(都)下中野平井線(A35)などの放射・環状道路の整備とあわせて、過度に車に依存した交通体系からバランスのとれた総合交通体系の実現のため、公共交通への転換を促進し、都市内の渋滞緩和を図る。	
1-C25	(都)下中野平井線(A35)などの放射・環状道路の整備とあわせて、市民の移動実態を把握することで、効率的かつ計画的な交通施策を実現し、交通利便性の高い都市の形成を図る。	
1-C26	津高地区の垂炭鉱採掘に伴う坑道跡の調査について物理探査や空洞調査を行い、幹線道路への影響や安定性評価を行うとともに対策工の必要性の検討を図る。	
1-C27	道路防災総点検に基づき作成された防災カルテの更新を行い、法面防災対策を実施することにより道路の安全性の向上を図る。	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況						
I	定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国道429号、雄町間線(前沼一踏切)等の歩道設置及びその他の交通安全事業により、交通死傷事故件数が減少した。 ・ (主)妹尾御津線 引舟橋ほか17橋の耐震対策が実施され、緊急輸送道路等における耐震対策実施橋梁数が増加した。 ・ 冠水警報装置が必要な地下道のうち21箇所対策を実施し、災害時の安全性が向上した。 ・ 自転車走行空間の整備により、中心市街地の自転車空間ネットワーク化率が向上した。 				
II	定量的指標の達成状況	指標① 人口10万人当たりの交通死傷事故件数を低減	最終目標値	5%低減	目標値と実績値に差が出た要因	道路の交通安全対策及び、交通管理者の安全対策等の要因により毎年確実に件数が減少した。
		最終実績値	21%低減			
		指標② 緊急輸送道路等における耐震対策実施済み橋梁を増加	最終目標値	36%	目標値と実績値に差が出た要因	関係機関との早期協議や工事の早期発注等に努めた結果耐震対策の着実な実施が可能となったため。
			最終実績値	47%		
		指標③ 冠水警報装置実施済み数	最終目標値	95%	目標値と実績値に差が出た要因	整備計画に従い、事業を実施することが出来た。
最終実績値	95%					
指標④ 自転車走行空間のネットワーク化率	最終目標値	23%	目標値と実績値に差が出た要因	計画的に自転車走行空間の整備を行う事により、概ね目標のネットワーク化率を達成した		
	最終実績値	21%				
指標⑤ 歩行者・自転車利用環境を向上	最終目標値	30%向上	目標値と実績値に差が出た要因	買い物などの短時間駐輪に対応した、駐輪場整備を行う事が出来なかった。		
	最終実績値	12%向上				
III	定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況					

3. 特記事項(今後の方針等)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後も災害や事故に強い都市基盤整備を行うことにより、安全・安心なまちづくりを進めていく。 ・ 計画に基づき、自転車走行空間のネットワーク化を進めて行く。 ・ 放置自転車に対する啓発・撤去を継続的に行うとともに、ニーズに応じた駐輪場を整備することで、放置台数を削減し、歩行者・自転車の利用環境向上に努める。 	

